

あいあいあい

I eye 愛

2018年
12月号



11/4 Wa! わあ祭りで試作の「米粉のフィナンシェ」を紹介する組合員

新あいコープのPBスイーツ開発中!

商品部 山根 かほり

今年10月からあいコーププロジェクトメンバーみんなでのプライベートブランド(PB)スイーツ開発プロジェクトが開始しました。このプロジェクトでは2018年3月に新たに開設した「社会福祉法人みんなの輪 わ・は・わ大衡」(米粉の焼きどーナつの生産者)と共に、泉B地区の地区委員さん達があいコープとみんなの輪らしい焼き菓子の開発を行います。

これまでのPB開発商品は「食パン」や「豆腐」など対象となる商品が明確でしたが、今回のテーマは「スイーツ」。商品を決めるところから始めなければなりません。どんなスイーツが欲しいか、わ・は・わ大衡ではどんなスイーツなら製造可能か、プロ

プロジェクトメンバーみんなでの頑張りていきます!どうぞご期待下さい!

のフィナンシェのまま進めるのか、はたまた別の商品になるのか。ここからまた、様々な意見を出し合って、組合員さんから末永く愛される商品が開発出来るよう、プロジェクトメンバーみんなで頑張

CONTENTS

- ▶ 子どもの貧困学習会報告 ...2
- ▶ Wa! わあ祭り報告 ...4-5
- ▶ 「水系のシンフォニー」報告 ...7
- ▶ 利用者が初めてでんきの産地へ ...3
- ▶ 誰もが安心して暮らせる社会へ ...6
- ▶ 生産者さんにあいに行こう～仙台メ縄の巻～ ...8

こどもの貧困学習会～みやぎのこどもたちの今～を開催

10月4日、日立システムズホールに於いて「子どもの貧困」について学ぶ学習会を開催しました。【NPO法人アスイク】代表理事の大橋雄介氏を講師に、貧困とは何か、また、貧困に悩む子どもたちがどんな状況かをお聞きしました。

また、あいコープみやぎが支援する【宮城野子ども食堂】代表の高橋悦子氏、【一般社団法人ワタマスマイル】代表の菅野芳春氏からは活動内容の報告がありました。



45名が参加し お話を聴きました

7人に1人は「貧困」。これほどこか遠い国の話ではなく日本のことだそうです。この数字を皆さんはどう受け止めますか？

貧困とは生きづらさに加え困りごとを多く抱えている状態のことを意味し、また「貧」と「困」はお互いが原因でかつ結果であるというお話でした。一人親が家族の為に昼夜働く↓心身共に病む↓子どもが不安定になる↓不登校になってしまうという悪循環。複雑化する前の早期発見が大切で、ここに子ども食堂や地域食堂の役割があると感じました。何気ない会話の中で何かしらのひっかかりを見つけて気付けてあげること。それが子どもたちにとって真の支えになると思うのです。

各家庭の事情で絶対的貧困の根本的解決は難しいけれど、貧困に起因する挫折や諦めを少しでも軽減し、子ども達を生きるエネルギーでいっぱいにしてあげるため私達にできる事はきつとある気がします。貧困問題は「震災があったからこそ見えてきた」問題とのこと。私も身近な事として関心を持ち続けたいと思いました。

理事 藤田紀子

◆宮城野子ども食堂◆

市民センターなどを会場に、月2回開催されます。毎回50名ほどの子どもたちが集まり、食事だけでなく勉強や遊びなどを通して、地域のコミュニティを作る場となっています。あいコープも食材を提供しています。



調理実習など食育活動も行っています

な せんだいばしょう 仙台芭蕉菜を味わいました！

仙台的伝統野菜「仙台芭蕉菜」をご存じですか。かつては多く栽培されていたそうです。その伝統野菜の種を継いでいこうと青葉B・宮城野・仙南地区の委員が、秋保ゆうきの会の渡辺さんの指導の元8月末ポットに種を植え、9月中頃畑に定植し育てて来ました。



種子採りが目的だから味見は一人一株だけ……！

にでも合う仙台芭蕉菜。生でもOKです。参加者みんなでお腹いっぱいになり楽しい思い出と共に、残した株が育ち来年種がたくさん採れることを願いながら家路につきました。

理事 三浦一枝

あいコープみやぎも支援しています



毎月季節を感じるメニューが並びます

◆渡波たべらいん◆

震災で大きな被害を受けた石巻市渡波地区で、一般社団法人ワタマスマイルをはじめとした10団体が運営する地域食堂です。孤立する高齢者や、親の失業で困窮する子どもたちの「孤食防止」を目的に月1回開催されています。

利用者が初めて
発電地交流会「ひっぽへ行ってみよう！」開催

11月27日、秋深まる丸森町筆甫地区へ、あいコープのパルシステムでんき加入者20名で訪れました。

まず、あいコープも出資した「ひっぽ電力復興一号発電所」の見学です。目黒社長（ひっぽ電力）から、原発事故の影響を受け疲弊した筆甫地区を復興しようとして立ち上げた「ひっぽ電力」の物語を聴き、みんなで太陽光パネルの裏に応援メッセージを書きこみました。



私たちがでんきの産地！



子どもも楽しく薪づくり

次の見学地は、太陽光パネルと蓄電池のみでの生活が体験できるモデルハウスです。家に入ると薪ストーブの炎が揺れていました。「では、この薪ストーブを焚くためのエネルギーを作りますよう！」と庭に出て薪割り体験！お手本を見せて頂いた後、何人かが挑戦しました。うまくいかないときと笑い声が、うまく割れると歓声と拍手が響きました。子供たちもキンドリンググラッカーという器具を使って、小さな薪作りを頑張りました！

最後に「平松発電所」を訪れました。ここは、発電所と除染土の仮置き場が、道を挟み向かい合わせに存在する筆甫の象徴的な場所です。原発事故による放射能汚染がひどかった筆甫の除染土が保管される仮置き場。そのすぐそばに、筆甫の未来のために作られた発電所。そして目の前に広がる美しい大自然；参加者は原発事故への怒りも新たに、複雑な想いで筆甫の風景を見下ろしました。

見学の後は昼食会を開催です。でんきの生産者と利用者が語り合った今回の交流会。参加者からは「写真で見ると行ってみるのではやっぱり違う」「行ってみて良かった」という声が寄せられました。

理事 鈴木真奈美



複雑な想い…平松発電所

あいコープみやぎ 日の出町センターの屋上に **発電所**ができます！

市民参加型の合同会社『みやぎ地域エネルギー合同会社』の事業として、あいコープの屋上に発電所ができます。既存のパネルと合わせて93キロワットあまり。ここで作られた電気はほぼ全量が、あいコープの食品を管理する冷蔵冷凍倉庫で自家消費されます。送電ロスの大きい電気というエネルギーを、同じ建物で発電することで『地産地消』できることになるのです。

この発電所の名前を募集している他、一口500円の「あいコープ発電所応援金」（カンパ）も募集中。ポイントも利用できます。

応援金募集期間 12月1回～1月4回

カンパー一口500円 → 注文番号 **000850** と口数を記入
500ポイント振替 → 注文番号 **222244** と口数を記入



完成予想（合成写真）

あいコープの屋上は
太陽光パネルでいっぱい

美味しい！楽しい！大好き！あいコープ

Wa!わあ祭り

来場者 2000 名！

当日の新規加入者 16 名！
さらにあいコープが広がりました！

組合員と生産者が協同で創るお祭り「Wa!わあ祭り」はあいコープみやぎの名称変更前、生活協同組合仙台共同購入会の設立10周年を記念して1989年に始まりました。生協設立以来掲げている「食の自給と安全・自然環境保全・地域福祉推進」という理念を生かしたお祭りにしたいとの思いから、人と人との輪(わ)、人と自然との和(わ)、その二つの「わ」から「Wa!わあ祭り」が誕生し、毎年開催しています。

2018年11月4日、あいコープの年1回の特大イベント「Wa!わあ祭り2018」が卸町商サンフエスタで開催されました。当日は天候にも恵まれ、秋晴れの中約2000名の来場があり、会場は買い物や出展者との会話、フードコートで美味しいものを堪能する来場者でにぎわいました。



たくさんのご来場ありがとうございました



魚食プロジェクト@間宮ブース



たねクイズ@たねまきプロジェクト



在来品種と交雑種の食べ比べ @秋保ゆうきの回



今年も大人気♪ あいコープふくしまブース



女川2号機再稼働の是非を問う 県民投票条例制定の署名活動

あいコープ商品を体感！PB紹介ブース



今年は改めて「PB商品の良さ、特徴を体感していただきたい」とブースを設置しました。対象商品は国産丸大豆醤油、放牧パスちゃん牛乳、花たまごの3商品。お祭り実行委員自ら商品を再度勉強し、その素晴らしさを伝えるための準備をしました。お買い物目当ての来場者が多い中、原料や製造工程、飼料の違いなどを短時間で伝えるのは難しかったですが、質問が飛び交う場面もみられ、食に対して不安や迷いを持った方がその場所で、あいコープの商品は安心なんだと理解していただけたのではないかと思います。

商品部職員 鈴木利成



花たまご紹介



利き醤油もありました

たくさんの人にあいコープを知ってもらおう



昨年のお祭りは大雨と強風に見舞われましたが、今年は天気も良く、目標にした2000人の来場者に来て頂くことができました。会場は昨年より広々となり、飲食スペースもたくさんでゆっくり楽しんで頂けたと思います。毎年恒例のガラポン大抽選会では、沢山の生産者から協賛品のご協力を頂き、バラエティに富んだ景品を目指して250組の方が参加しました。組合員の皆さんが紹介してくださったお友達や、チラシを見て来場した方など、当日ご加入頂いた方は16名で、今年も新しいあいコープの輪が広がりました。来年も組合員、生産者、職員、そしてあいコープをまだ知らない方も行きたいと思えるお祭り作りをしたいと思っています。

営業課 イベント担当職員 嶺岸 大慈

チャレンジ! プラ削減



マイクロプラスチックの問題は、今取り組み始めれば事態を悪化させずにすむ可能性があることをこれまでの学習で学んできました。そこで、すぐにでもプラ削減の行動を起こすべく、今年は会場内で使用する容器を再生紙容器に統一し、プラ製レジ袋の削減を各出展者の皆様にお願しました。初めての取り組みの為、十分に達成できなかった部分もありますが、紙袋への切り替えや大皿に試食を盛って容器を削減するなど、それぞれ独自の取り組みにご協力頂きました。野菜を入れる為、米袋をリサイクルした袋を用意した地区委員会もありました。エコステーションでのゴミ集積、マイ食器持参の広がりでゴミの減量・減容も達成する事ができました。

実行委員長から

本年も多くの皆様にご来場いただき、心より感謝申し上げます。これまで「あいコープの商品の良さを伝える」「来場者2000人」「ゴミやプラ容器の削減」の3つを目標に掲げて準備を進めて参りました。当日来場者の方々にお楽しみ頂く為、スタンプラリーやままカフェ、新米亭など多くの企画も並行して実施しました。これを支えて下さったのがおまつりサポーターと生産者、職員の皆さんです。特におまつりサポーターはお子さんを含め208人となり、皆で作るおまつりであることを示せたのではないかと思います。 実行委員長 理事 後藤咲子



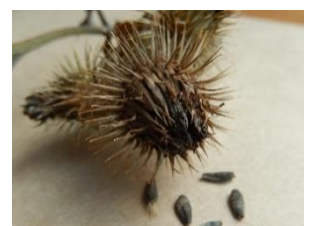
10/21 講演会報告
「内部被ばくを考える」

甲状腺検査活動に取り組んでいる「日本基督教団東北教区放射線問題支援対策室いずみ」が主催した西尾正道医師講演会が10/21に仙台市内で開催され、あいコープも共催団体として協力しました。西尾医師はがんへの小線源治療を多用した放射線治療に長年取り組んできた知見から、内部被ばくを全身化換算するSvでの評価が内部被ばくを軽視してしまうことを批判し、微粒子となった放射性セシウムやトリチウムの危険性などの問題提起をおこないました。今の日本は被災地に限らず放射線と毒性化学物質の多重複合汚染の状態であるとの現状認識のもと、原発事故後の健康管理として、食の在り方を見直すことが重要であるとの指摘がありました。



西尾正道医師

種子(たね)に注目!
これは何のたね?



つぼみをつつんでいる部分にはとげがあって、動物にくっついて運ばれやすくなっています。てんぷら、きんぴら、煮もの、何にでも合いますね♪ 答えはP6下段



誰もが安心して

暮らせる社会を

ジョイケア企画
組合員の健康づくり

何時までも元気で健康に

ロコモ予防ヨガ体操を7会場で開催しました。

いくつになっても五体満足で元気でいたいもの。そこでジョイケアシステムで初の試みとなる「ロコモ予防ヨガ体操」をNPO法人日本ヨガ連盟の深掘智恵氏を講師にお迎えし仙台市内や大崎、多賀城の7か所で開催しました。

ロコモとは骨・関節・筋肉などの運動器の機能が低下し、将来的に要介護になるリスクが高い状態のこと。そうならないために、

ヨガの呼吸を取り入れた体操は予防になり、身体を使うことで脳の刺激にもなり、いわゆるボケ防止にもなるとのこと。筋肉は120歳まで鍛えられ、骨は75歳まで作られるということも教えていただきました。

足の指から順にほぐしてストレッチをし、耳・眼・指をほぐす簡単なヨガを行うと、不思議なことに眼ヨガの後には足の動きが楽になり、指ヨガの後には後ろが振り向きやすくなりました。また耳ヨガ

は頭がすっきり。耳の遠くなつた方が毎日続け1年後には普通に聞こえるようになったという話もお聞きました。

何時までも健康に元気で居られるように、あいコープの食材で細胞を健康に、ロコモ予防ヨガ体操で元気に。命いきいきライフを送っていききたいですね。

ジョイケア事務局

堀越久恵



10/16 大崎市会場の参加者の皆さんと講師の深掘さん（前列左から4人目）

まんま通信のあるくらし

9/13 (木) 石巻地区
企画報告

鶏まるごと余すところなく食べ尽くそう



日々の活動で様々なことを学び「畜産品の中でも内臓こそ安全安心なあいコープの食材で食べたいし、みんなにも食べて欲しい!」という石巻地区委員の思いで実現したこの企画。米沢郷牧場の伊藤幸蔵代表をお招きし、鶏の飼育の現状を学び、その後鶏レバーや砂肝などを調理、試食しました。

米沢郷牧場は、アニマルウェルフェアに基づき、薬をできるだけ使わず、地元産の飼料（もちろんNon-GMO）で育てた鶏の糞から堆肥を作

り、飼料米を育て、それをまた鶏に与えています。全てがそこで完結する、持続可能な自然循環型農業の中で育つた鶏たち。安全安心はもちろん、美味しさもお墨付きです!レバーや砂肝は私自身あまり調理経験はなかったのですが、健康に育つた鶏の内臓だからこそ面倒な下処理をしなくてもクセや臭みがなく、塩焼きのような簡単調理で充分美味しくいただけました。地区委員オススメの砂肝のアヒージョは、パンに浸したり、翌日はバスタにかけたりとアレンジもできます。

思いと愛情の詰まった鶏肉、鶏さんの命と生産者の努力に感謝して、余すところなく食べ尽くしたいですね。

石巻地区担当理事

辻朗子

理事会議事録抄

2018年11月6日(火)

▼Wa!わあ祭りの振り返りをおこなった。当日は16名の加入があった▼2月組合員交流会企画書を承認した▼日の出町センターにみやぎ地域協同発電所(仮称)を設置するにあたり、組合員に応援金を募集することを承認した▼12月6日たねまきプロジェクト印刷講演会企画書を承認した▼2021年シャボン玉フォーラムの受け入れ団体になることを承認した。2020年4月に実行委員会を立ち上げることとした。

組織概要

(2018年10月分)

【組合員数】	15,081名
【供給高】	216,157千円
【一人実利用高】	5,224円/週
【出資金】	1,121,972千円

●P4の答え 『ごぼう』 Wa!わあ祭りでは、展示したごぼうのたねに興味津々の来場者がたくさんいらっしゃいました。ごぼうを食べるときは、このたねを思い出してね。編集部

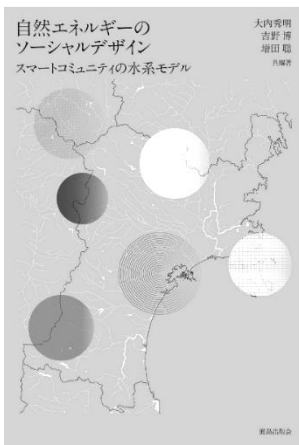


自然エネルギーに基づく豊かな地域社会へ

広瀬川水系の持つ自然エネルギーの活用による地域循環型社会の構想を提起した本「自然エネルギーのソーシャルデザイン」が出版されたことを記念して、自然エネルギーによる地域再生をテーマとした映画「おだやかな革命」の上映、共著者のひとりである飯館電力事務の千葉訓道さんと映画監督の渡辺智史さんとの対話の催しを企画しました。

映画上映の後、お二人の対談では、こうした試みが成功するためには、合意形成と資金集め、許可の壁の三つの課題の克服が必要であり、最初に地域での合意形成が前提になることが話されました。

自然エネルギーは、ポテンシャル



なもので、そのままでは潜在的な能力を発揮出来ません。特に小水力発電では、流域の住民の合意が必要です。第2次大戦前までは、各地の共同体が管理運営する小水力発電所がたくさんあ

つて地域のエネルギーを賄っていました。仙台市でも広瀬川流域に日本最初の三居沢をはじめ5つの水力発電所がありました。

今、再び、電気を国家管理、電力会社の独占から地域コミュニティに取り戻すことがエネルギーの自給、安全、地域循環経済・社会への再生にとって不可欠な課題になっており、そのなかで協同組合の役割が問われています。

顧問 小野瀬裕義



私のオススメ商品



私がオススメする商品はタンポポ村のギョウザです！こちらの商品は原材料にこだわっており、お肉は産直肉(じもとん)を使い国産のキャベツ、ニラ、しょうが、にんにくを使用しています。

皮はマツダ製麺さんのものを使用しており国産小麦100%です。合成添加物は一切使っておりそれぞれの素材を活かしています。組合員さんと一緒に開発したので家庭で手作りしたような食べ飽きの来ない美味しい餃子ですので是非食べてみてください。

事業部 渡邊寛也

編集後記

今年もWa!わあ祭りを盛大に開催することが出来ました。今年のお祭りの目標であるごみの減量・減容と使い捨てプラスチックの削減は、出展者と来場者の皆さんの共感と参加で予想以上にうまくいったと思います。

もちろんまだまだ改善すべきところは多くありますが、「変えよう！」と問題提起し取り組むことで発揮される協同の力の成果だと思えます。今後のお祭りの大きな柱になっていくと思えます。29年前の最初のWa!わあ祭りは小山二つ分のごみ袋を運んだ私の実感です。

組織運営室長 豊嶋馨

●機関紙あいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配送もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中！

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2018年9月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	43件	利用延べ人数	63名
集団託児	24件	◆ケア時間	
慶弔・出産	17件		
電話相談窓口	3件		
計	87件		185.5時間

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



022-284-7277 平日 9:00~17:00

12/11(火)・・・法律相談 弁護士 松澤陽明氏
13:30~15:30

12/18(火)・・・子ども相談 宮城教育大学教授 菅井裕行氏
10:00~12:00

12/21(金)・・・思春期相談 臨床心理士・スクールカウンセラー北條貴子氏
9:30~11:30

12/11(火)・・・年金相談 社会保険労務士 清野道子氏
13:30~15:30

くらしの相談はお休みです。

▼各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。▼
▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



● 毎週何が来るかな〜と楽しみでした。美味しく食べることが出来てムダにならないなんて素敵なことですね。(もったいない野菜サポーター)

地域の伝統や文化を

ともに大切に受け継いでいきたい



しめ飾り 玄関用・大



しめ飾り 車用・小

11月半ば、仙台市にお住いの『仙台の縄』生産者である庄司さんを訪ねました。

かつて縄づくりは農家の手仕事として当たり前を受け継がれてきましたが、時代と共に様々な『ものづくり』が担担化され、縄も商品として扱われるようになりました。

恵美子さんの息子さんは、お婆様やお父様が亡くなられた際、縄づくりをやめることも考えたそうですが、取引先と一緒に縄づくりをしている近所の方からの応援もあり、『伝統や文化を受け継ぐことはできるが、一旦途絶えてしまったら復活させるのは難しい、この仙台の縄を存続させよう』と生産を続ける決心をしたそうです。

庄司さんのしめ飾りには、生の『裏白』や『樺葉』が使われています。市販品では変色しない代替品が添えられているものが多い中、神様をお迎える大切なしめ飾りだからと、できる限り本来のものを使っています。半ばインテリアのひとつになりつつあるお正月のしめ飾りですが、本来の意味を大切に選んでみてはいかがでしょうか。12月1回または3回のままま通信でご注文ください。



輪飾り



庄司さんの輪飾りには樺葉が使われている。若葉が出たあと、前年の葉がそれに覆るようになり落葉するので親が子を育てて家が代々続いていくように見立て、縁起物とされる。



仙台の縄
庄司 恵美子さん

先代が60年ほど前から『仙台の縄』作りを始め、現在は息子と製作しております。近所の方々が作業に加わってくださり、12月中旬の繁忙期には20名もの皆さんにご協力を頂いています。

今、しめ飾りの多くは輸入の草(ワラではない)が使われており、国産のワラで作られたものはどんどん少なくなっています。私たちは自ら耕す田んぼで収穫した稲を天日干しし、その稲ワラを使っているのですが、ワラの収量や状態はその年によって大きく左右されます。特に今年の天候はひどく、暴風の影響で天日干しをしている穂(稲)が杭ごと倒れたこともあり、好調な年に比べると半分程度しかワラが取れませんでした。自然相手なので大変なこともあります。この文化を繋いでいきたいと思っています。地域の皆さんと共に心を込めて作った、自信をもって組合員さんにお届けできるしめ飾りです。地元の田んぼでとれたワラを使った、仙台ならではのしめ飾りで、よいお年をお迎えください。

* 垂直に立てた杭に刈り取った稲を組んだもの

Calendar *今後のイベント*

12/6 木

たねまきプロジェクト
印鑑智哉氏講演会②

このまま食べ続けても大丈夫?
遺伝子組み換え食品の今
…最新情報…

場所/ 東京エレクトロンホール 401 中会議室
時間/ 10:00~12:30 参加費/100円

12/7 金

石巻地区企画
ポリ袋とフライパンで
天然酵母のパンを焼こう!

場所/ 東松島市コミュニティーセンター調理室
時間/ 10:00~13:00 参加費/500円

12/11 火

ジョイケア企画

暮らしとこころの老いじたく

場所/ 太白区中央市民センター
時間/ 10:00~12:00

12/6 木

たねまきプロジェクト

あの渡辺さんと
小豆を育てよう! ~選別作業~

場所/ 秋保ゆうきの会 園場
時間/ 10:00~12:00 登録者のみ

地区委員さん募集中!
一定例会見学も受付中~

地区委員会は

楽しい!
おいしい!
学べる!!

あいコープの仲間だから
本音トークができます。



お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop

(担当: 組織運営室長 豊嶋)